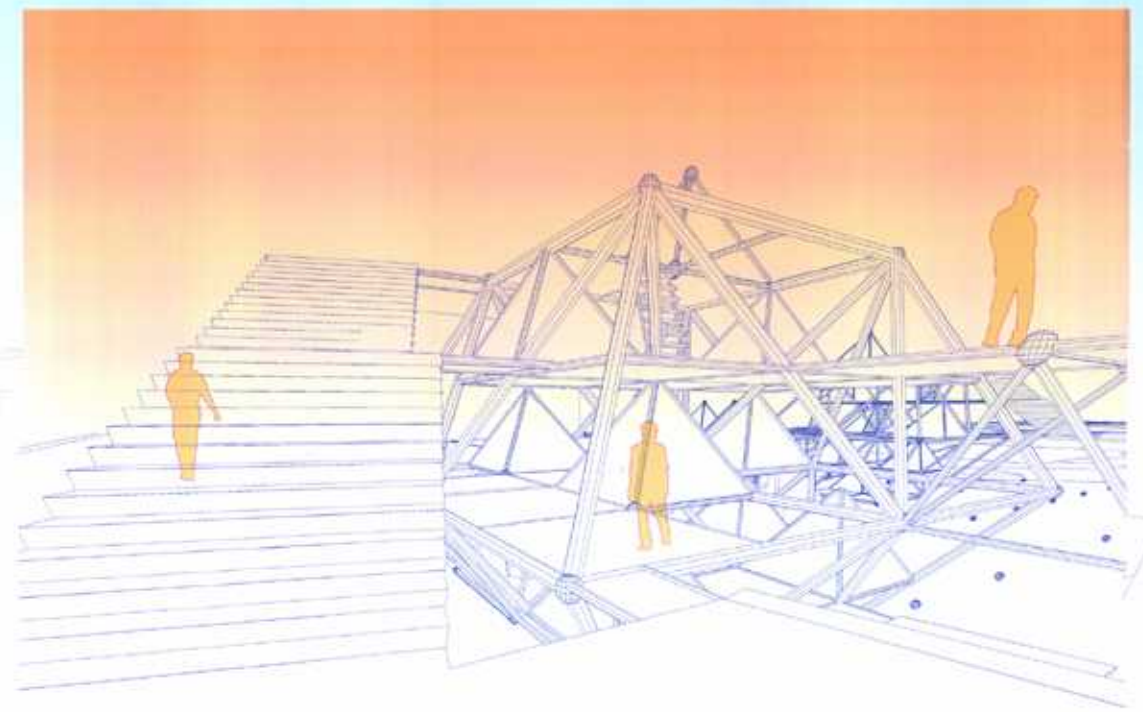


DIPLOMA DESIGN 2002

# Home-less-Home

NAOKI HAYASHI



出口の見えないホームレス問題

見せかけだけで効果のうすい行政の対策

社会の偏見と追い出しの意識

公園に存在することすら

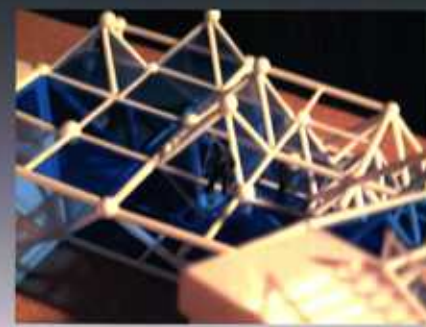
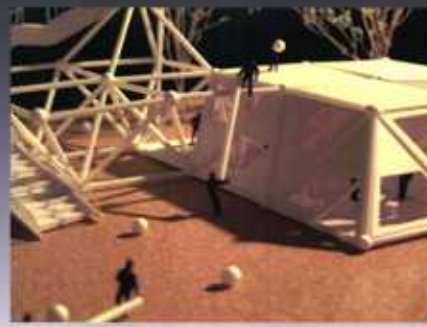
許されなくなってきた悲惨な現実から

次の時代にくるホームレスのあり方とは・・・

公共空間で自由に生活するホームレスの存在を認める

そんなホームレスのHomeがここにある





公園の見た目をきれいにしたいだけじゃないのか  
追い出しのためのシェルターはいらない

シェルターに入所したらテントは強制撤去される  
仕事が見つからなかったらどうしろというのか  
ほかに行く所はないんだ...

テント・小屋を持たず、路上で寝ている人々を優先してシェルターに入れるべきだ

シェルターの入所定員よりも  
はるかに多くのホームレスが市内にいることを知っているのか

### 問題設定

日本経済の悪化に伴うホームレスの急激な増加に対して  
出口の見えないホームレス問題  
現在とられている建築的対策としてはシェルター（緊急避難施設）  
自律支援施設などがあるが、これらはいずれも入所期間6ヶ月で  
対象者も都市公園、高架下等の公共空間にテント・小屋を持つホームレスのみとなっている  
入所したらテント・小屋は強制撤去され、入所期間中に仕事が見つからなかった場合  
彼らはまたホームレスに戻るという悪循環が起きている  
これは行政が都市空間の美化を目的とした、見せかけだけのホームレス対策である  
ホームレスを排除・収容・隔離する自立させるという現代社会の考え以外にも  
これからは新たなホームレスのあり方があるべきではないだろうか

シェルターには反対しない  
でも限られた期間中に仕事が見つかるわけがない

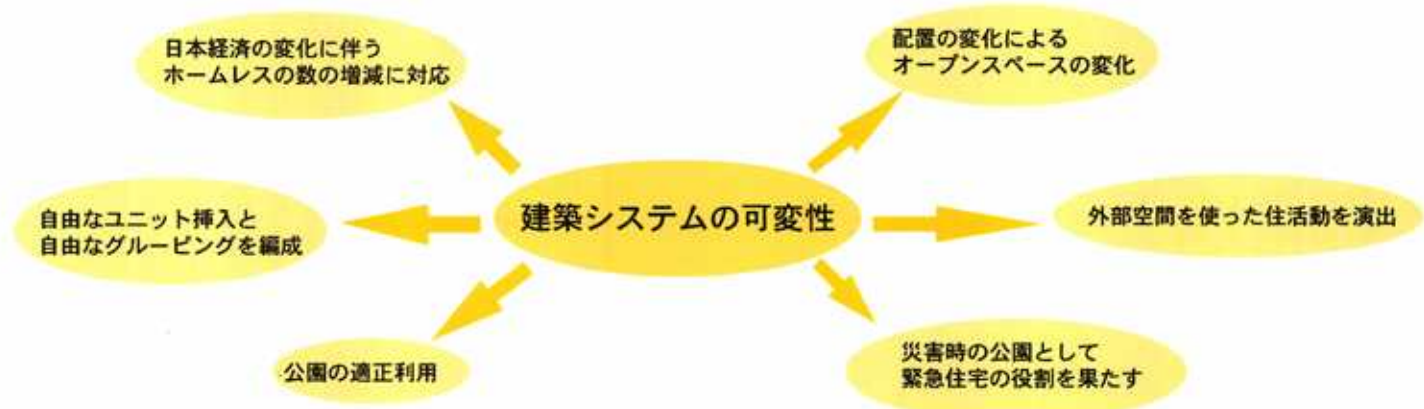
シェルターに入所したら規則を与えられ  
自由な生活ができない  
それなら今のままの生活がいい

入所したくない人には強制せず  
ほかの対応策も用意して  
自由に選択できるようにすべきだ

大部屋だとプライバシーがないし、トラブルが起きる可能性がある  
個室にはできないのか

### concept

公共空間で生活するホームレスの存在を認め、社会的排除をなくす  
公園の住人であるホームレスは都市にあるオープンスペースを  
魅力的に、有効に使っている  
外部空間で住活動を行うホームレスに対し  
可変性のある建築システムを提供することにより  
ホームレスは主体的にライフスタイルを選択できる

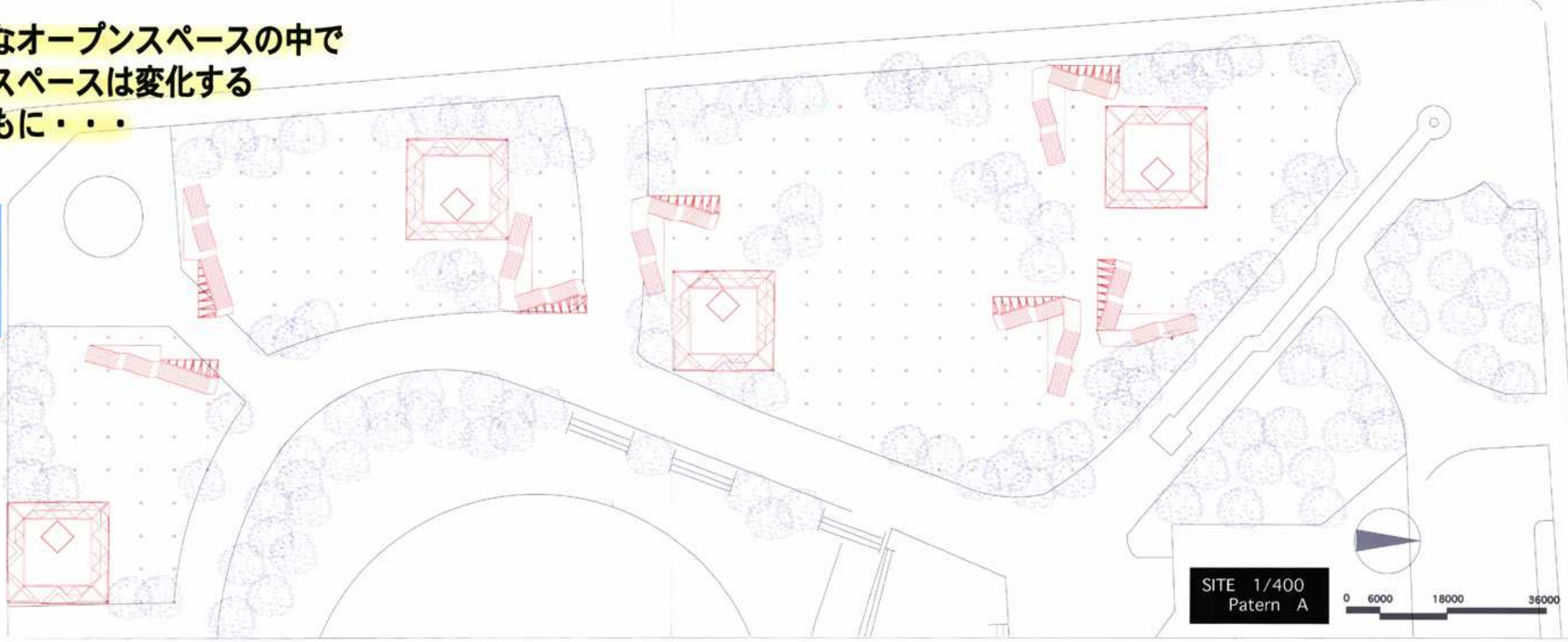




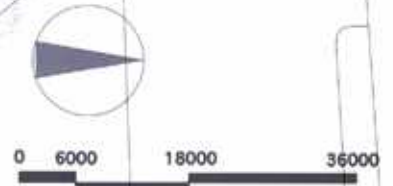
公園という大きなオープンスペースの中で  
 小さなオープンスペースは変化する  
 時代の変化とともに・・・

2022年  
 ホームレス数 0  
 6mグリッド上に配置されたピン・  
 階段・WCのみが存在する  
 子供が巨大な遊具として利用

- 2021
- 2020
- 2019
- 2018



SITE 1/400  
 Patern A



2017年  
 ホームレス数 約80人  
 景気は順調に回復し  
 ホームレスの数も減る  
 よりパブリックな  
 オープンスペースが広がる

- 2016
- 2015
- 2014
- 2013



オープンスペース

SITE 1/400  
 Patern B





2012年

ホームレス数 約180人  
景気はやや安定するが  
いぜん失業率は大きい  
パブリックでありプライベートな  
オープンスペースが存在する

2011

2010

2009

2008

2007年

ホームレス数 約300人  
日本経済さらに悪化  
立体トラスの増加により  
プライベートな  
オープンスペースが創出される

可変性のある建築システムによって  
数の増減に対応

立体トラスの構成の変化は  
外部空間を変化させる

2006

2005

2004

2003

2002年

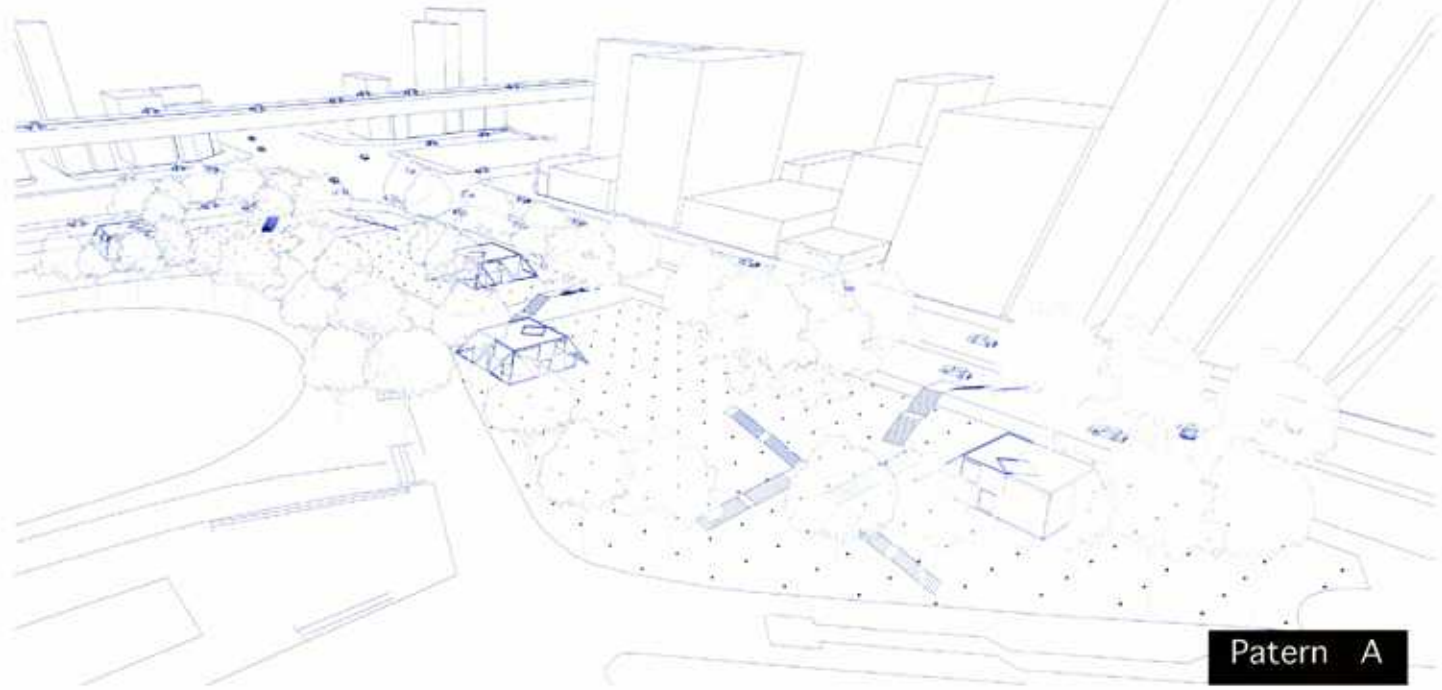
ホームレス数 約200人



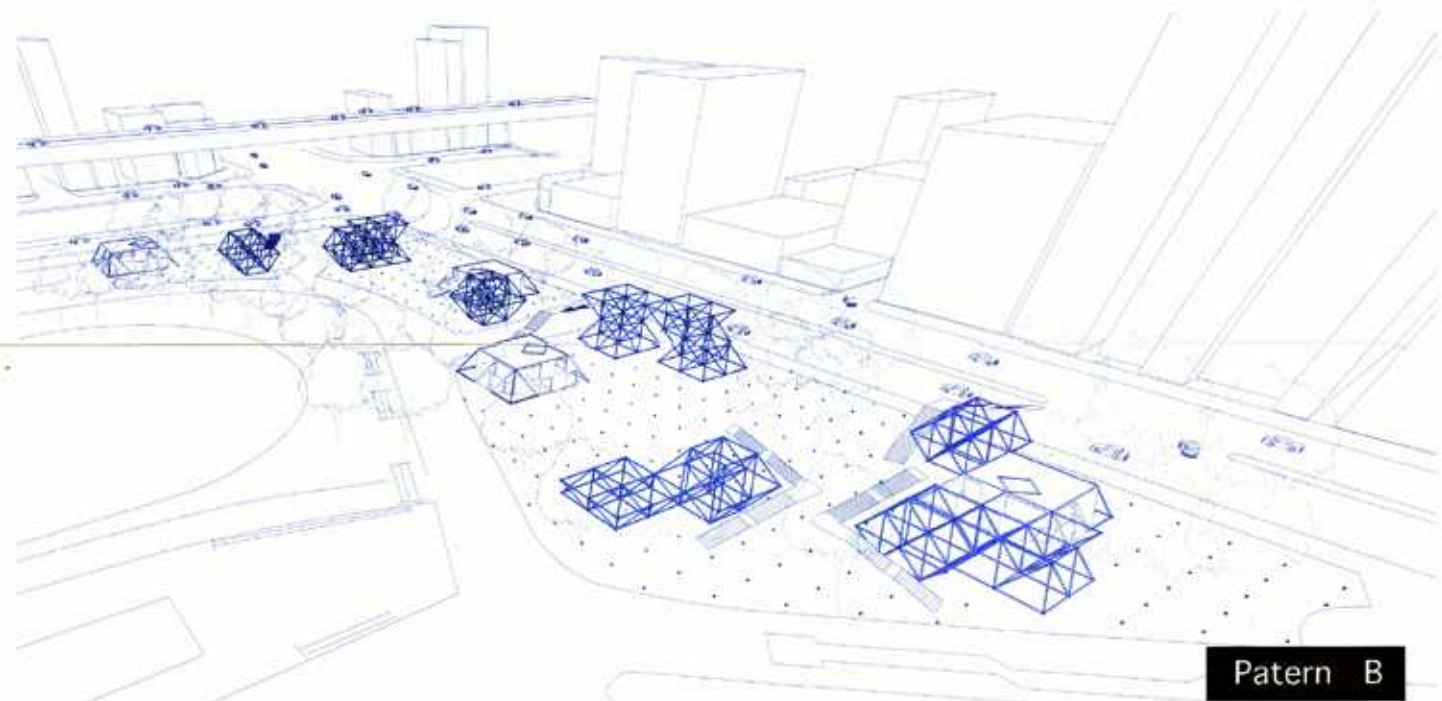
SITE 1/400  
Pattern C

SITE 1/400  
Pattern D

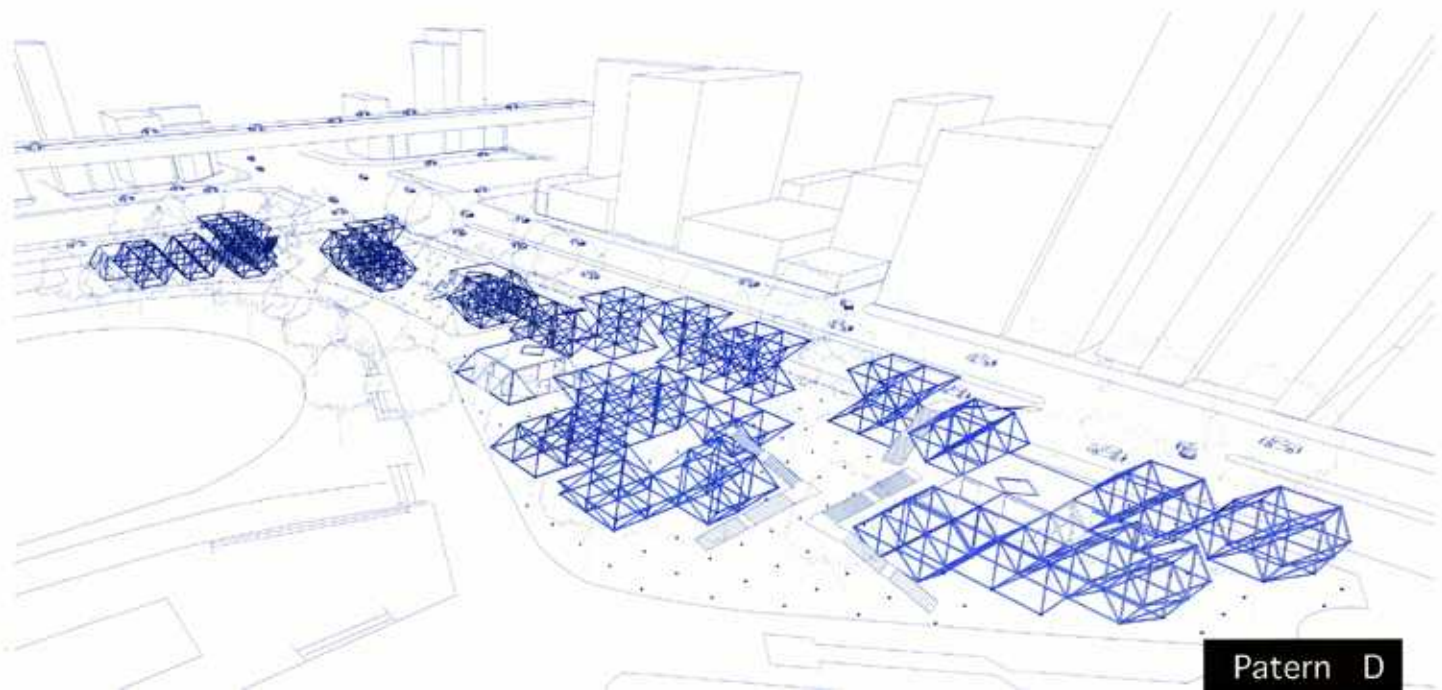




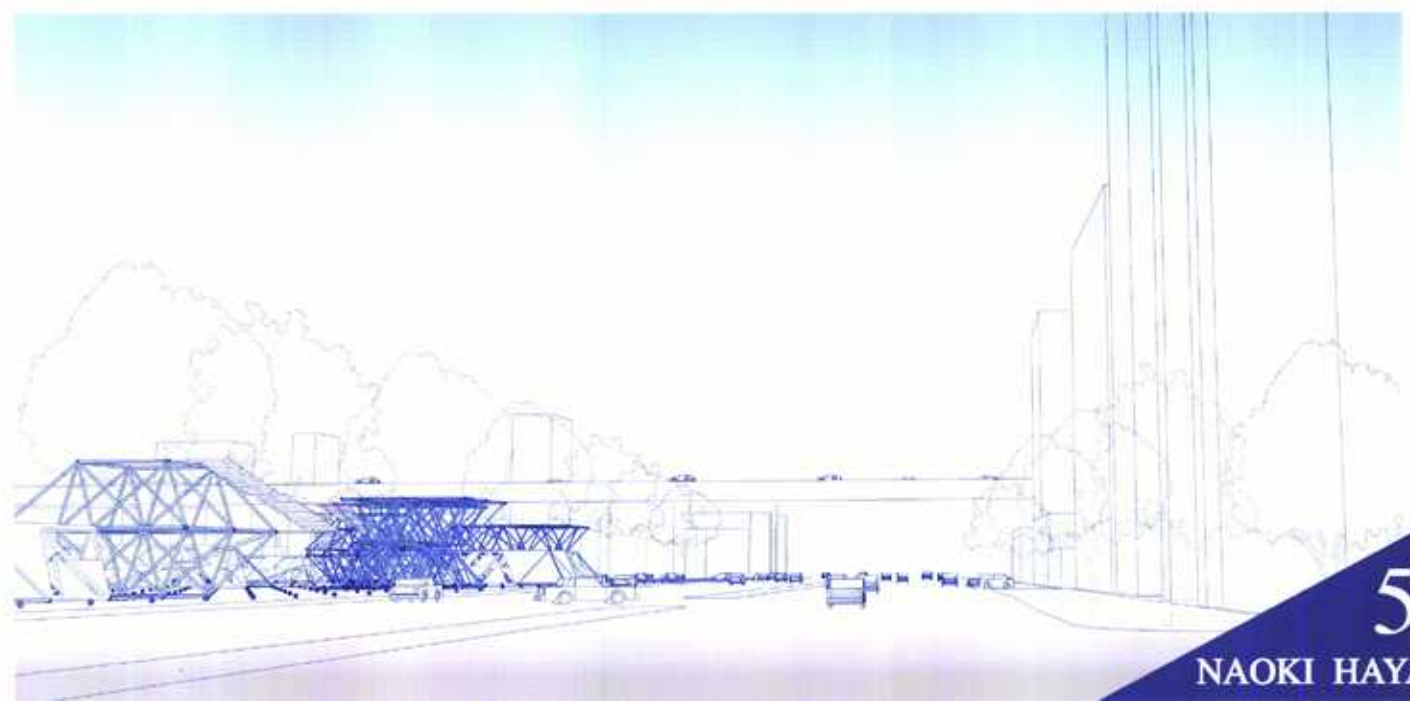
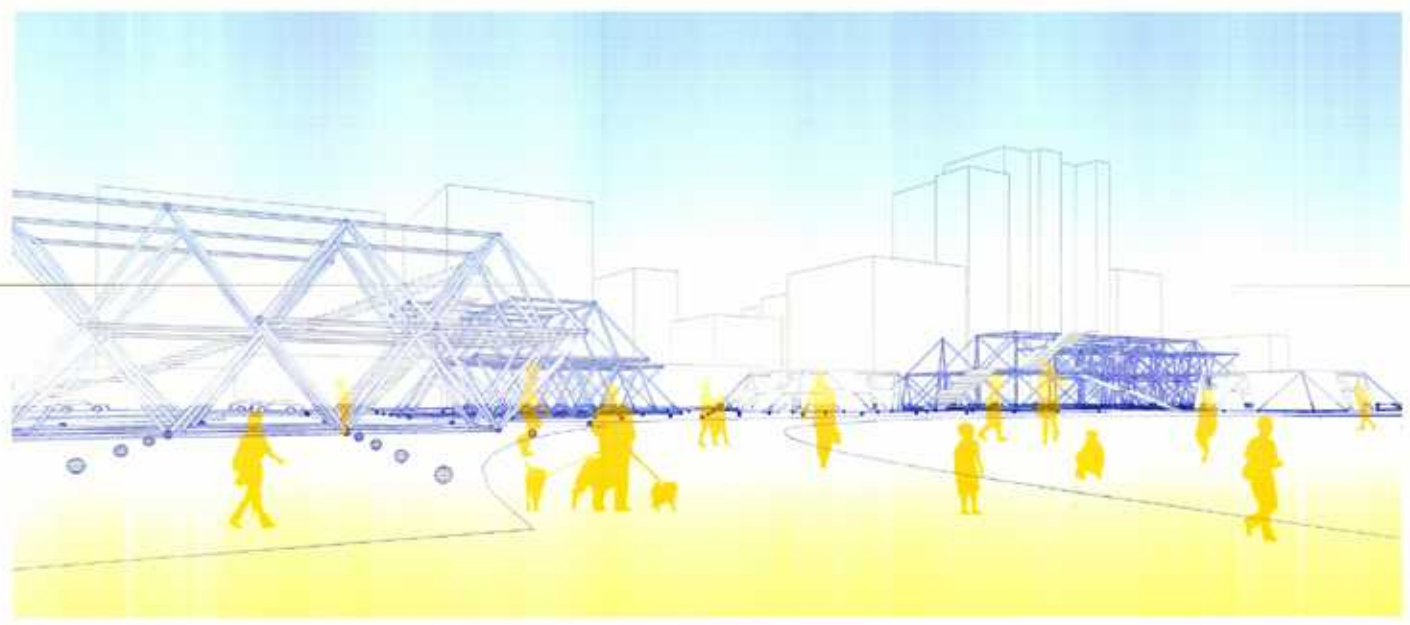
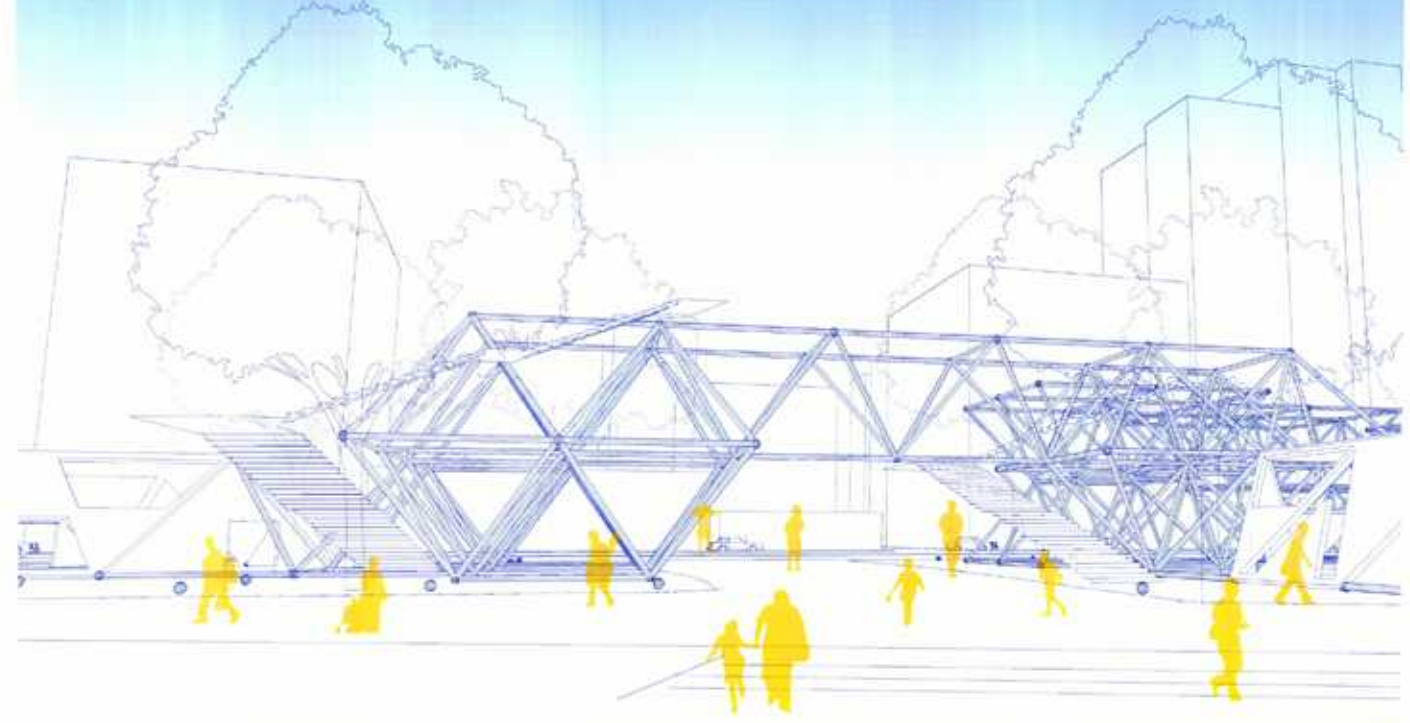
Patern A



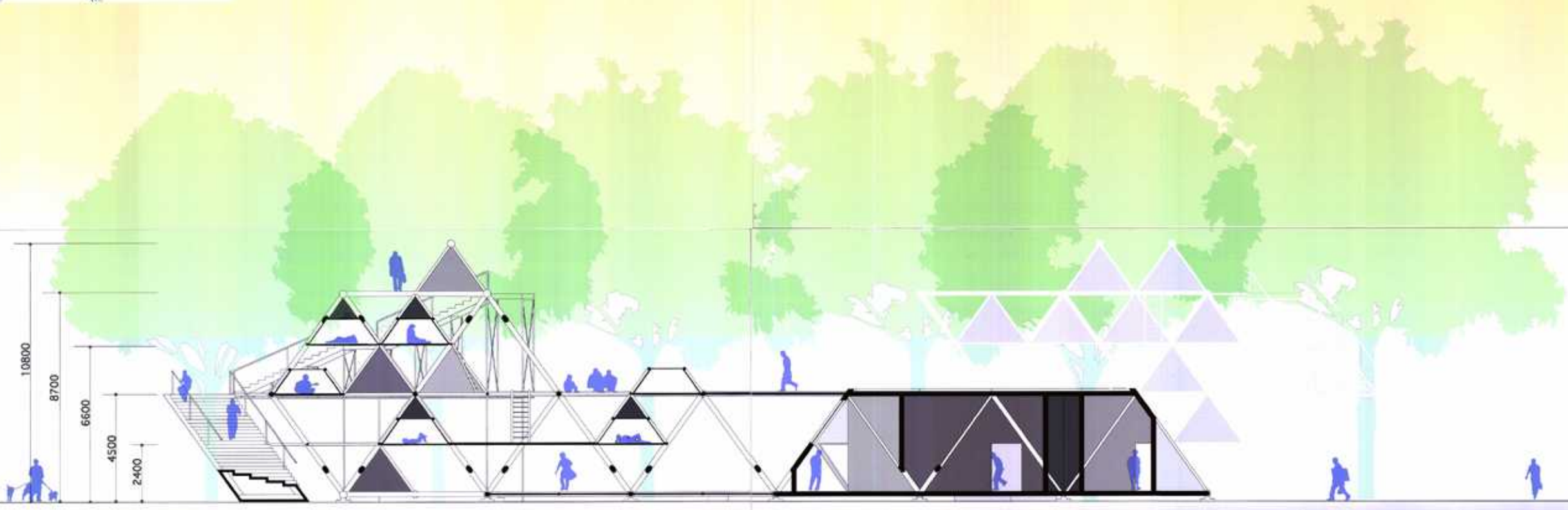
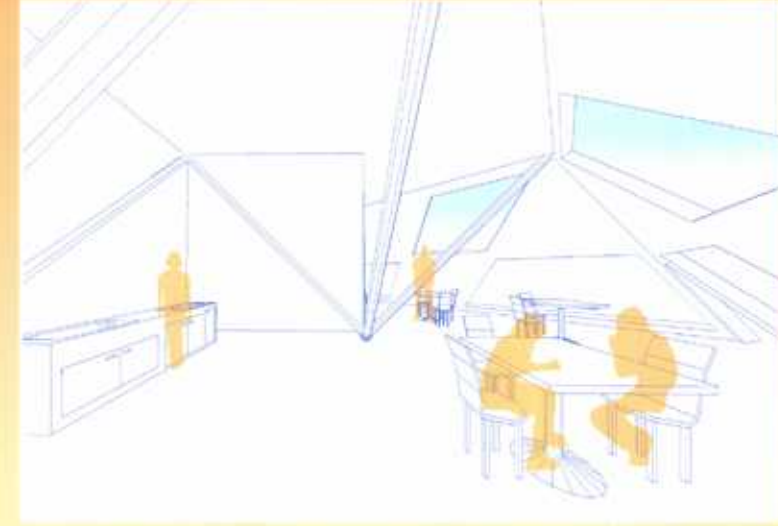
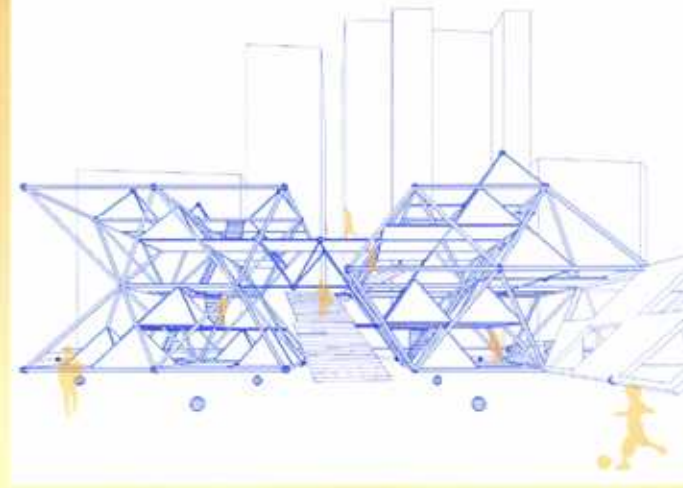
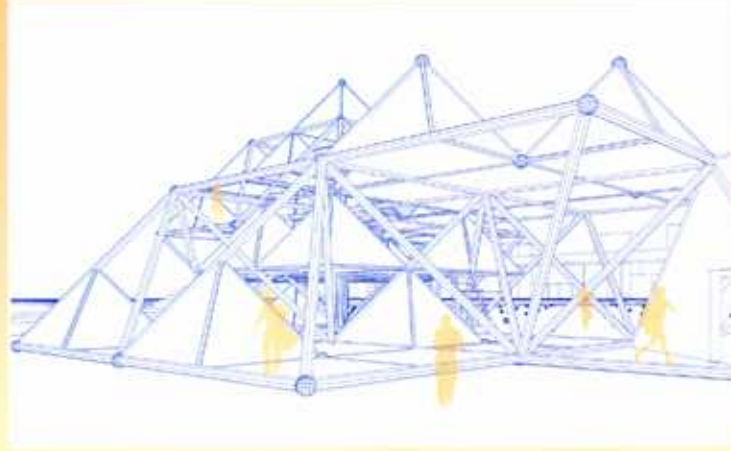
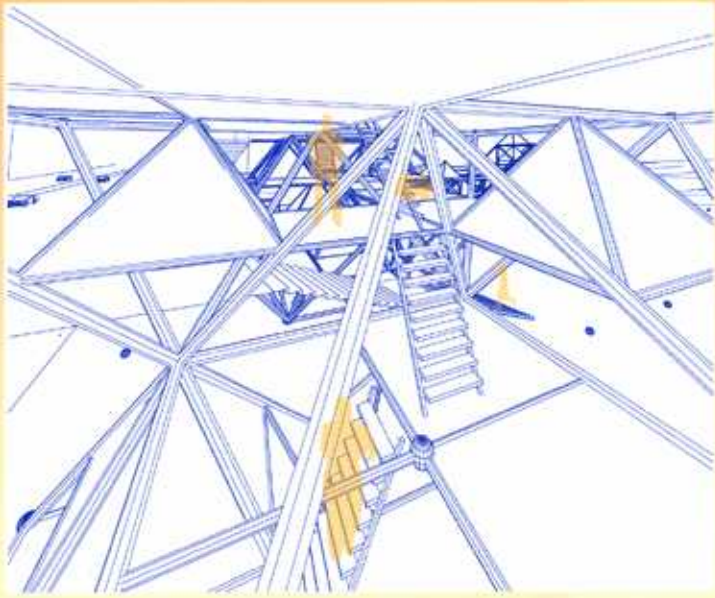
Patern B



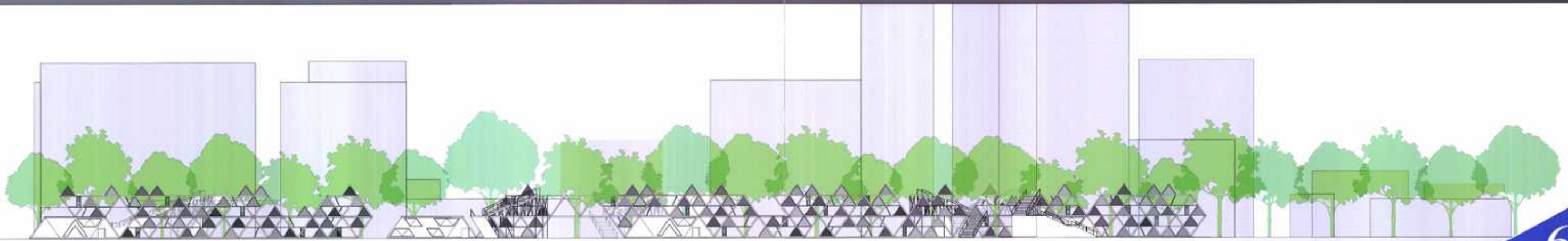
Patern D





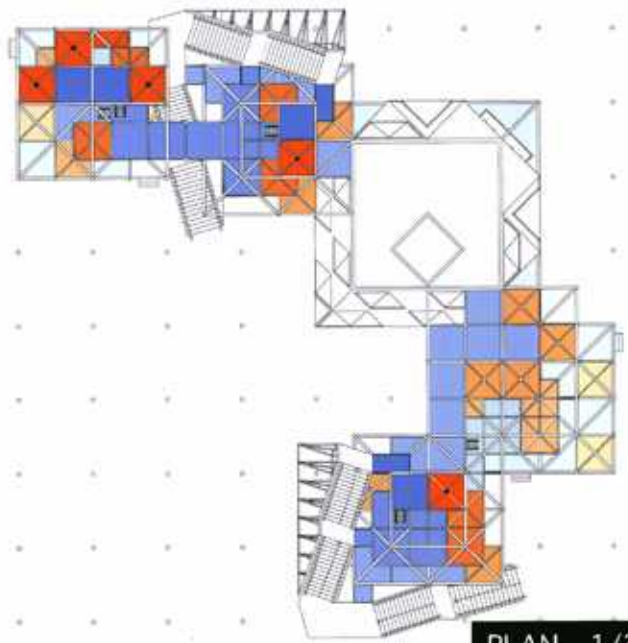


SECTION Y-Y'  
1/100

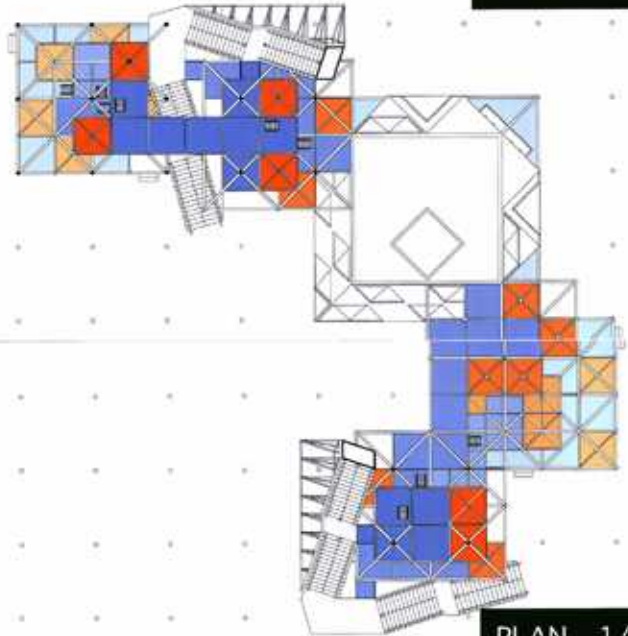


EAST ELEVATION  
1/400

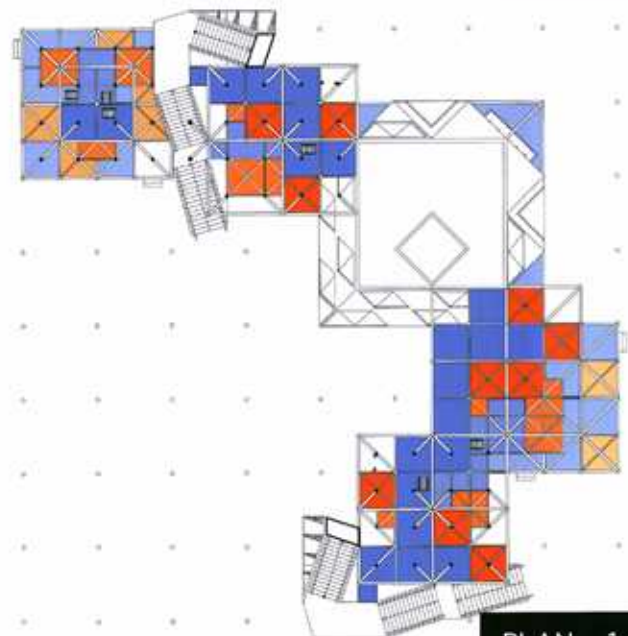




PLAN 1/300  
H=10800

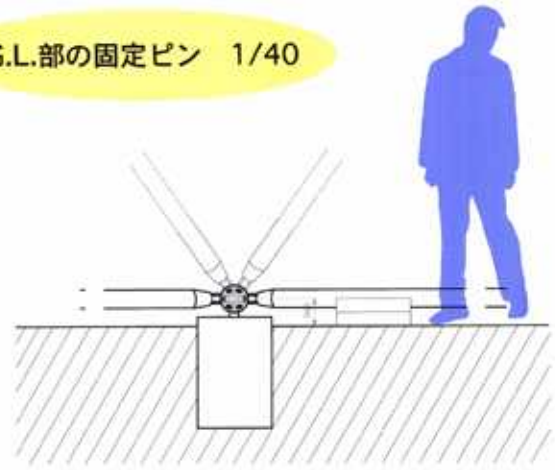


PLAN 1/300  
H=8700

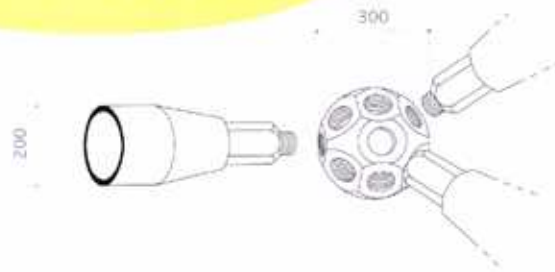


PLAN 1/300  
H=6600

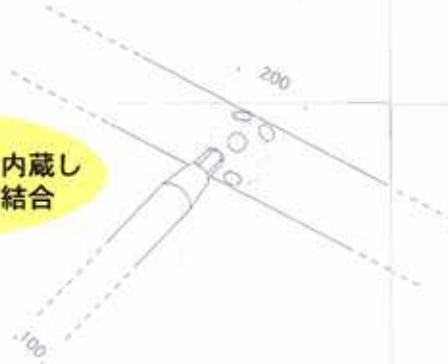
G.L.部の固定ピン 1/40



6mフレームと6mフレームの  
ボールジョイント方式



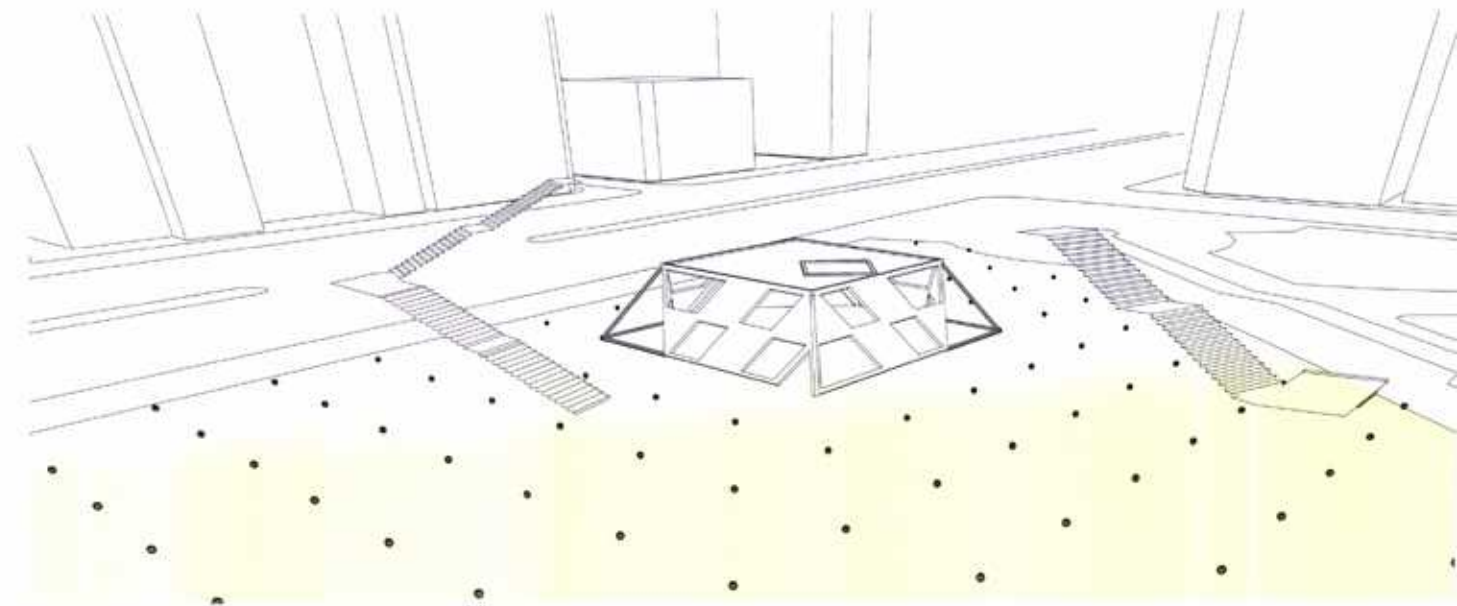
ボールを6mフレームに内蔵し  
3mフレームを結合



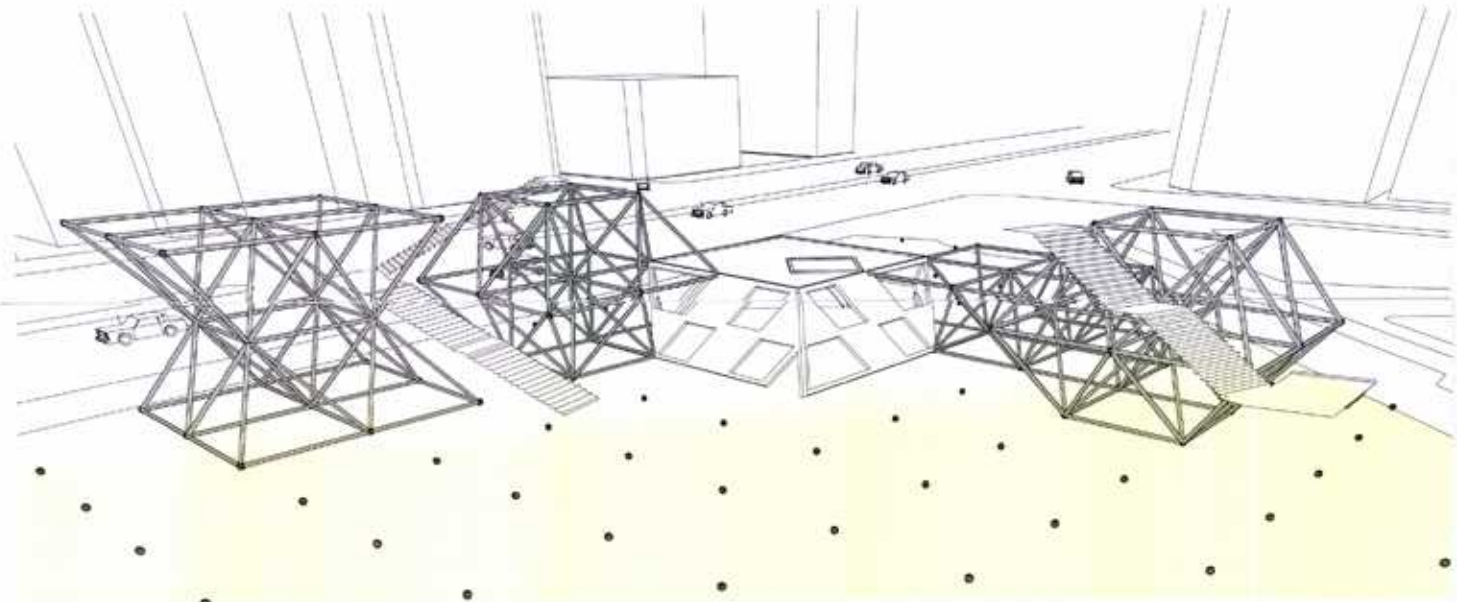
床材をはめ込むための  
間接材を挿入



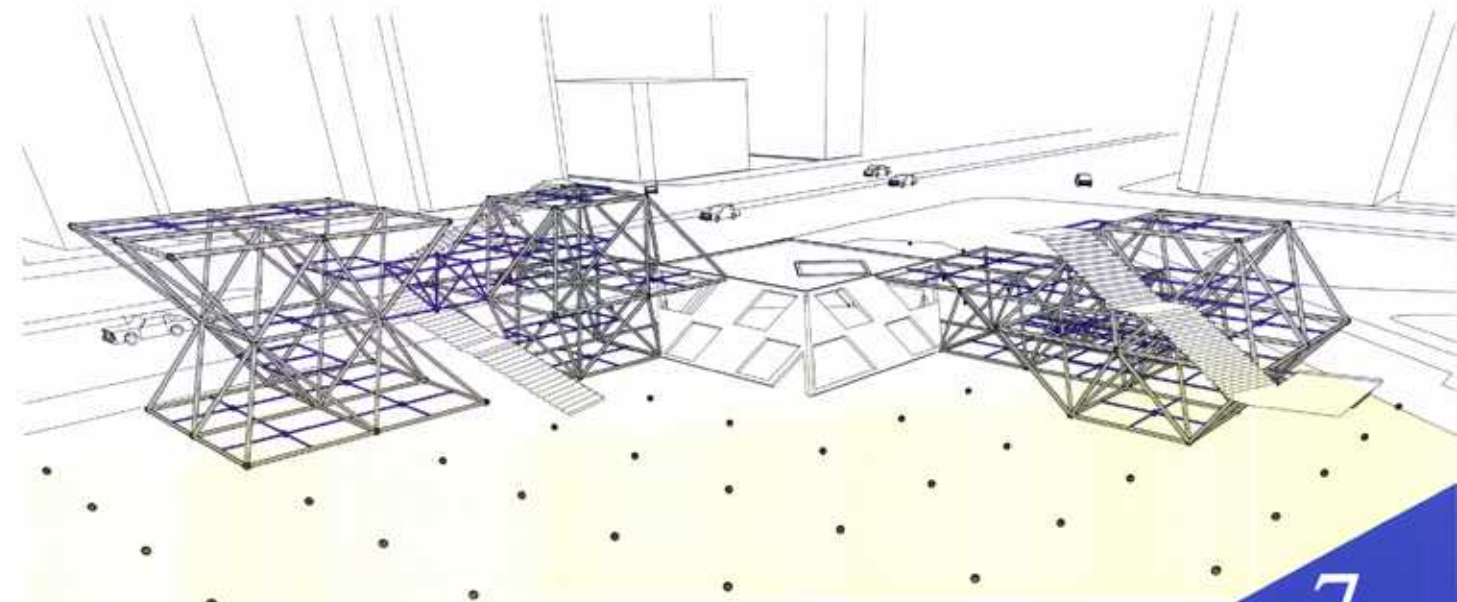
巻かれた床材を持ち運ぶ  
ホームレス



ピン・階段・WC棟のみが固定で存在



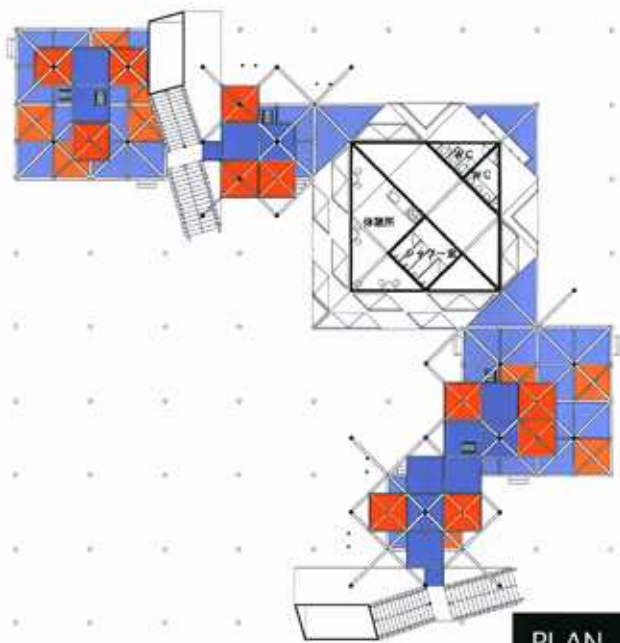
6mフレームにより立体トラスを形成



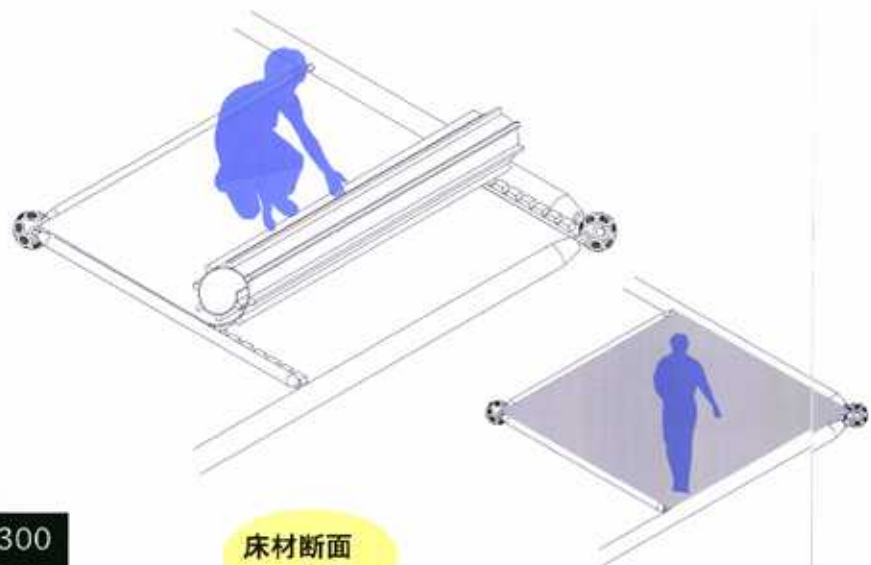
床材を支えるための水平フレームが入る



巻いている床材を広げて完成



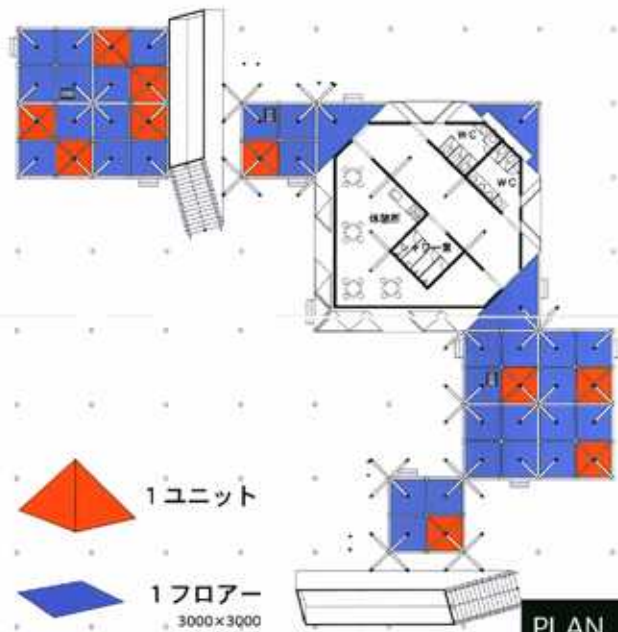
PLAN 1/300  
H=4500



床材断面  
1/5



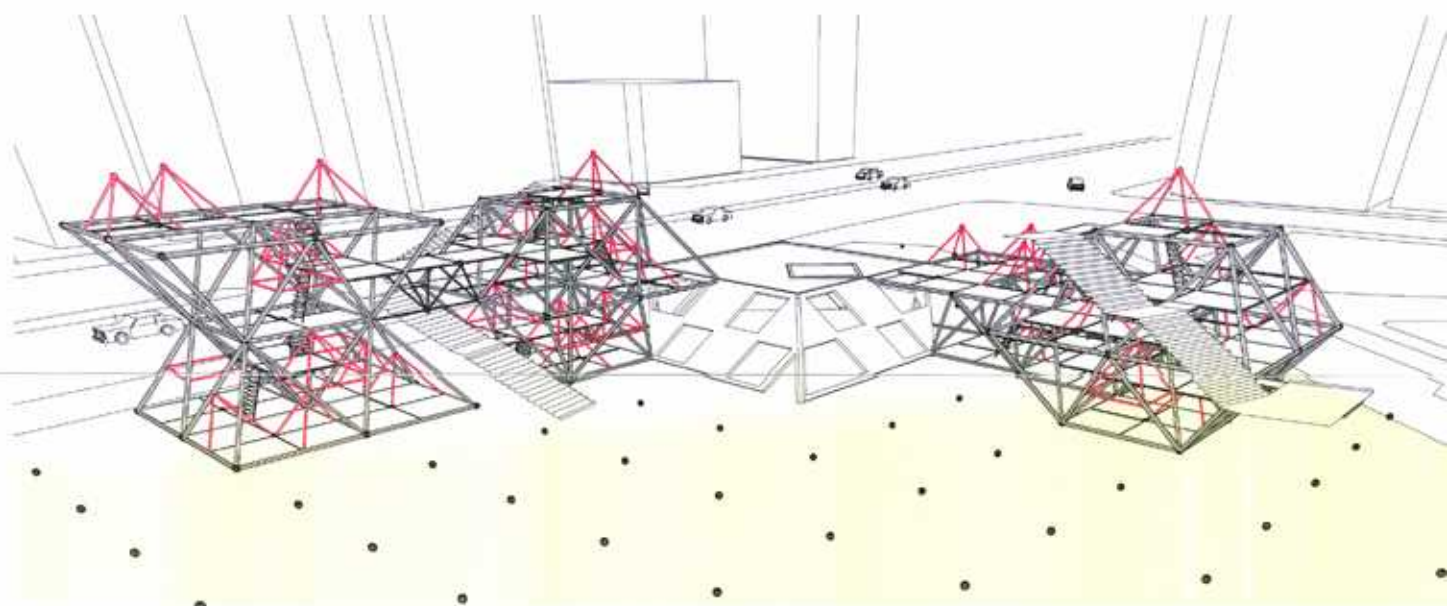
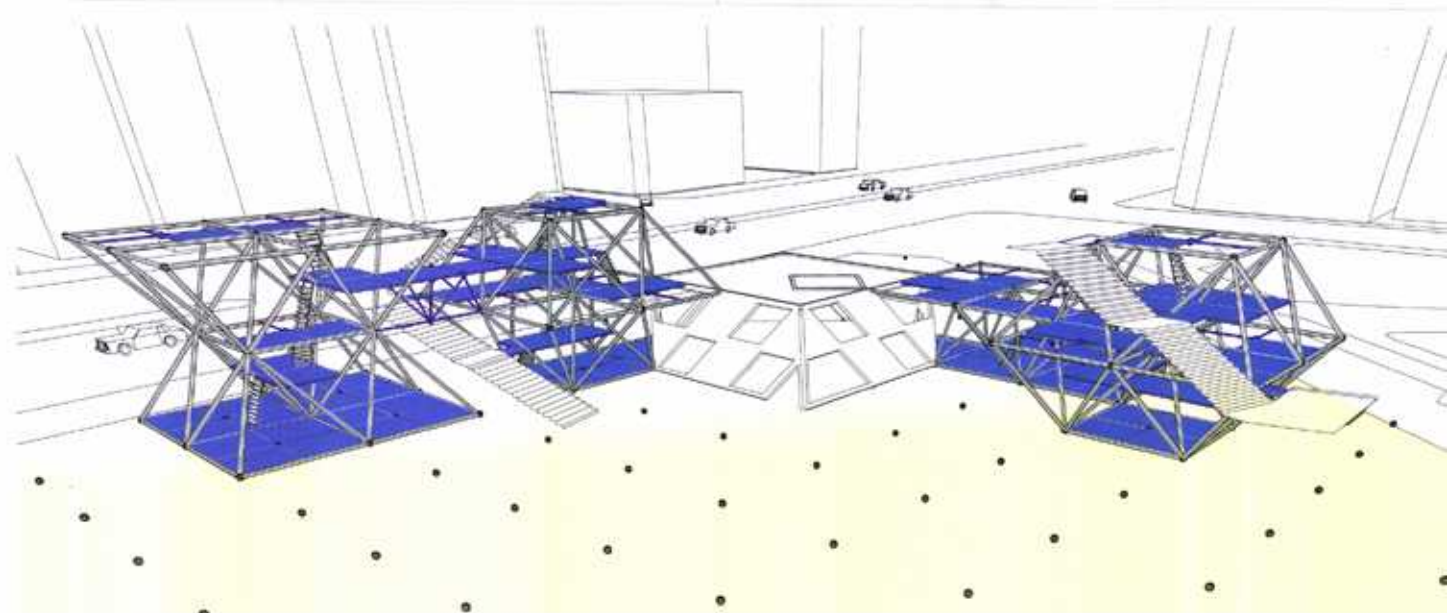
パネルを  
4枚に分けて  
はめ込む



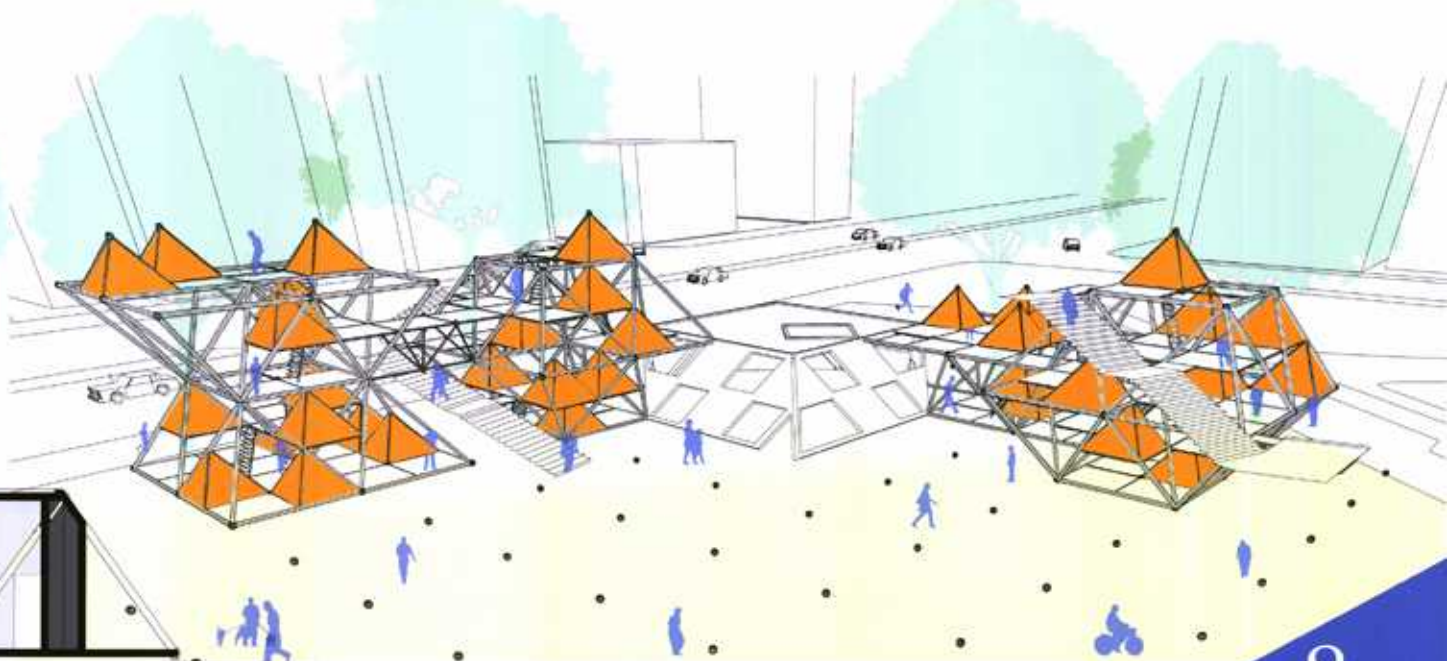
PLAN 1/300  
H=2400

0 3000 9000 18000

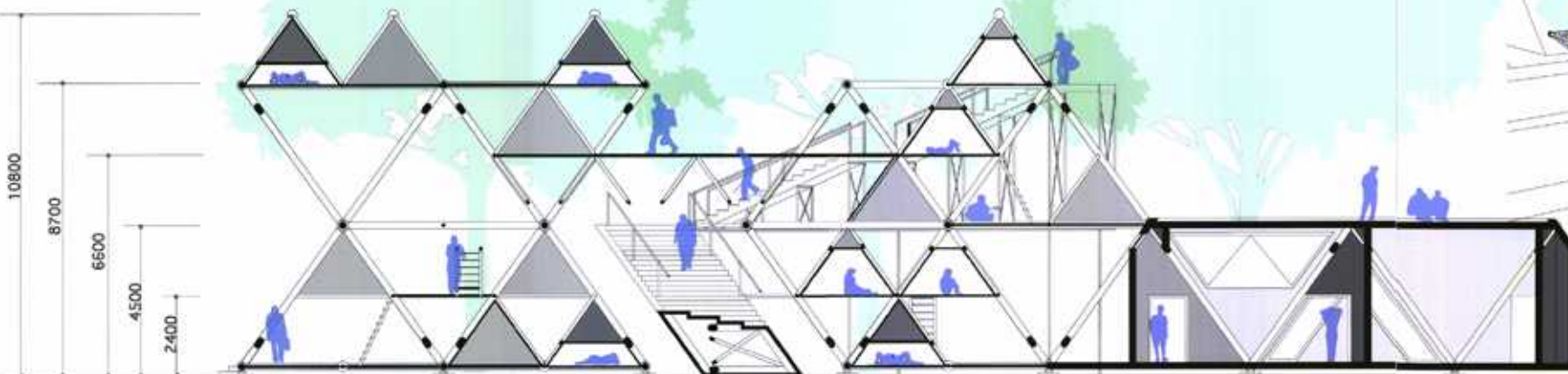
床材と各層をつなぐハシゴを挿入



3mフレームで四角すいの1ユニットを形成



パネルをはめ込み完成



SECTION A-A'  
1/100